



平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年2月14日

上場会社名 株式会社 ユー・エス・エス
 コード番号 4732 URL <http://www.ussnet.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役統括本部長
 四半期報告書提出予定日 平成24年2月14日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東 名

(氏名) 安藤 之弘
 (氏名) 山中 雅文

TEL 052-689-1129

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	46,728	3.5	19,813	11.9	20,163	12.6	11,977	12.9
23年3月期第3四半期	45,164	3.7	17,707	13.4	17,904	11.8	10,606	17.0

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 11,558百万円 (8.3%) 23年3月期第3四半期 10,672百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	424.57	423.86
23年3月期第3四半期	361.78	361.59

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第3四半期	135,811	118,633	87.0
23年3月期	151,636	121,947	80.2

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 118,165百万円 23年3月期 121,638百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				合計
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	91.00	—	101.00	192.00
24年3月期	—	110.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	116.00	226.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	62,600	1.9	26,300	8.1	26,500	7.5	15,900	13.8	566.91

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期3Q	31,325,000 株	23年3月期	31,325,000 株
② 期末自己株式数	24年3月期3Q	3,768,221 株	23年3月期	2,364,781 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期3Q	28,209,792 株	23年3月期3Q	29,318,238 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】P.3「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

四半期決算短信補足説明資料は、平成24年2月14(火)に当社ホームページに掲載いたします。

(金額表示単位の変更について)

当社の四半期連結財務諸表に掲記される科目その他の事項の金額については、従来、千円単位で記載しておりましたが、第1四半期連結会計期間および第1四半期連結累計期間より百万円単位をもって記載することに変更しました。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) セグメント情報等	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
4. 補足情報	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間のわが国経済は、東日本大震災により寸断されたサプライチェーンが早期に回復したものの、外需の低迷や円高による輸出減少に加え、タイの洪水による生産活動停滞の影響などにより厳しい状況が続きました。

一方、国内自動車生産は、東日本大震災やタイの洪水の影響による減産から回復に向かい、10月から12月までの新車登録台数は1,125千台（前年同期比22.9%増）と大幅に増加しましたが、同期間における中古車登録台数は1,568千台（前年同期比1.4%増）と微増に留まりました。（一般社団法人日本自動車販売協会連合会、社団法人全国軽自動車協会連合会調べ）

このような経営環境の中、U S Sグループの当第3四半期連結累計期間は、売上高46,728百万円（前年同期比3.5%増）、営業利益19,813百万円（前年同期比11.9%増）、経常利益20,163百万円（前年同期比12.6%増）、四半期純利益11,977百万円（前年同期比12.9%増）となりました。

オートオークション

オートオークション事業は、10月以降、新車の登録台数が前年同月実績を大幅に上回り、下取りや買い取り車両が増加したことで、10月から12月における出品台数は前年同期実績を16.7%増と大きく上回り、出品台数は1,610千台（前年同期比1.0%増）、成約台数は1,024千台（前年同期比2.2%増）、成約率は63.6%（前年同期実績62.8%）となりました。

オートオークションの手数料収入は、出品台数、成約台数が前年同期実績を上回ったことに加え、台当たり手数料単価も上昇したため増加しました。営業費用については、前年同期と比較して、減価償却費、賃借料およびのれん償却額が大幅に減少しました。

この結果、オートオークション事業は、外部顧客に対する売上高33,296百万円（前年同期比4.0%増）、営業利益19,320百万円（前年同期比13.4%増）となりました。

中古自動車等買取販売

中古自動車買取専門店「ラビット」および事故現状車買取販売は、10月以降、オークション相場が下落傾向となったことを受け、査定時における買取車両の厳選を強化したことから、10月から12月における取扱台数が大幅に減少し、台当たり粗利益についても悪化しました。

この結果、中古自動車等買取販売事業は、外部顧客に対する売上高9,264百万円（前年同期比2.6%増）、営業利益446百万円（前年同期比3.5%減）となりました。

その他

廃自動車等のリサイクル事業は、廃自動車や工場廃材等の取扱量が減少したことに加え、材料仕入単価も上昇したことから減収減益となりました。

廃ゴムのリサイクル事業は、10月から12月において高付加価値製品である弾性舗装用ゴム製品などの取扱量が増加したことにより増収増益となりました。

7月より開始している中古自動車の輸出手続代行サービス事業は、営業損失となりました。

この結果、その他の事業は、外部顧客に対する売上高4,167百万円（前年同期比1.1%増）、営業損失65百万円（前年同期実績 営業利益111百万円）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は135,811百万円となり、前連結会計年度末と比較して15,825百万円減少しました。これは、オークション貸勘定が9,001百万円減少したことや、現金及び預金が5,114百万円減少したことなどによるものであります。

負債合計は17,178百万円となり、前連結会計年度末と比較して12,510百万円減少しました。これは、オークション借勘定が8,679百万円減少したことや未払法人税等が1,707百万円減少したこと、自動車税預り金の減少などにより流動負債のその他が1,292百万円減少したことなどによるものであります。

純資産合計は118,633百万円となり、前連結会計年度末と比較して3,314百万円減少しました。これは、自己株式の取得により自己株式が9,070百万円増加したのに対し、利益剰余金が5,976百万円増加したことなどによるものであります。

<キャッシュ・フローの状況>

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末と比較して6,958百万円減少し、22,322百万円となりました。なお、当第3四半期連結累計期間における連結キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は12,254百万円となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益20,150百万円（前年同期比16.0%増）、減価償却費及びその他の償却費3,014百万円（前年同期比13.5%減）、法人税等の支払額10,085百万円（前年同期比11.0%増）によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果支出した資金は4,035百万円となりました。これは主に、定期預金の純増加額3,100百万円（前年同期比342.9%増）、有形固定資産の取得による支出487百万円（前年同期比78.7%減）によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果支出した資金は15,176百万円となりました。これは主に、自己株式の取得による支出9,070百万円（前年同期比83.2%増）、配当金の支払額6,001百万円（前年同期比8.7%増）によるものであります。

（3）連結業績予想に関する定性的情報

当連結会計年度の業績予想につきましては、想定する範囲内で推移しており、前回公表（平成23年11月8日発表）の連結業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 （税金費用の計算）

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 （会計基準等の改正に伴う会計方針の変更）

第1四半期連結会計期間より、「1株当たり当期純利益に関する会計基準」（企業会計基準第2号 平成22年6月30日）および「1株当たり当期純利益に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第4号 平成22年6月30日）を適用しております。

潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定にあたり、一定期間の勤務後に権利が確定するストック・オプションについて、権利の行使により払い込まれると仮定した場合の入金額に、ストック・オプションの公正な評価額のうち、将来企業が提供されるサービスに係る分を含める方法に変更しております。

（4）追加情報

第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更および過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月4日）および「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日）を適用しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	30,980	25,866
オークション貸勘定	11,151	2,149
受取手形及び売掛金	2,685	2,102
有価証券	—	100
たな卸資産	973	922
その他	1,360	2,988
貸倒引当金	△76	△64
流動資産合計	47,074	34,066
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	32,002	30,293
土地	59,100	58,842
建設仮勘定	23	24
その他（純額）	3,352	2,546
有形固定資産合計	94,479	91,706
無形固定資産		
のれん	108	40
その他	1,005	850
無形固定資産合計	1,114	890
投資その他の資産		
投資その他の資産	9,074	9,240
貸倒引当金	△105	△92
投資その他の資産合計	8,969	9,147
固定資産合計	104,562	101,745
資産合計	151,636	135,811
負債の部		
流動負債		
オークション借勘定	11,502	2,822
支払手形及び買掛金	649	460
短期借入金	188	233
未払法人税等	4,932	3,225
引当金	493	277
その他	5,227	3,934
流動負債合計	22,994	10,954
固定負債		
長期借入金	167	122
引当金	133	152
資産除去債務	705	711
その他	5,689	5,238
固定負債合計	6,695	6,224
負債合計	29,689	17,178

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	18,881	18,881
資本剰余金	18,972	18,972
利益剰余金	104,012	109,989
自己株式	△15,310	△24,381
株主資本合計	126,556	123,461
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	43	24
土地再評価差額金	△4,961	△5,320
その他の包括利益累計額合計	△4,918	△5,296
新株予約権	31	230
少数株主持分	278	237
純資産合計	121,947	118,633
負債純資産合計	151,636	135,811

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
売上高	45,164	46,728
売上原価	19,881	19,453
売上総利益	25,283	27,275
販売費及び一般管理費	7,575	7,461
営業利益	17,707	19,813
営業外収益		
受取利息	24	27
不動産賃貸料	111	145
受取保証金収入	—	114
雑収入	120	203
営業外収益合計	256	490
営業外費用		
支払利息	6	3
不動産賃貸原価	11	20
複合金融商品評価損	33	103
雑損失	8	13
営業外費用合計	59	140
経常利益	17,904	20,163
特別利益		
固定資産売却益	12	34
貸倒引当金戻入額	46	—
その他	5	—
特別利益合計	64	34
特別損失		
固定資産売却損	0	24
固定資産除却損	29	21
投資有価証券評価損	56	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	516	—
その他	0	1
特別損失合計	602	47
税金等調整前四半期純利益	17,365	20,150
法人税等	6,680	8,214
少数株主損益調整前四半期純利益	10,685	11,936
少数株主利益又は少数株主損失(△)	78	△40
四半期純利益	10,606	11,977

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	10,685	11,936
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	△12	△18
土地再評価差額金	—	△359
その他の包括利益合計	△12	△378
四半期包括利益	10,672	11,558
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	10,593	11,598
少数株主に係る四半期包括利益	78	△40

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	17,365	20,150
減価償却費及びその他の償却費	3,485	3,014
のれん償却額	225	68
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△4	△25
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△207	△216
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	33	19
受取利息及び受取配当金	△27	△36
支払利息	6	3
投資有価証券評価損益 (△は益)	56	—
複合金融商品評価損益 (△は益)	33	103
有形固定資産除売却損益 (△は益)	5	10
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	516	—
オークション勘定の増減額 (△は増加)	△814	321
売上債権の増減額 (△は増加)	769	583
仕入債務の増減額 (△は減少)	△97	△189
預り金の増減額 (△は減少)	△1,133	△1,160
その他	△831	△339
小計	19,381	22,307
利息及び配当金の受取額	26	35
利息の支払額	△6	△4
法人税等の支払額	△9,088	△10,085
営業活動によるキャッシュ・フロー	10,312	12,254
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の純増減額 (△は増加)	△700	△3,100
有形固定資産の取得による支出	△2,292	△487
有形固定資産の売却による収入	17	104
無形固定資産の取得による支出	△277	△106
投資有価証券の取得による支出	—	△210
長期前払費用の取得による支出	△215	△7
関係会社株式の取得による支出	—	△268
その他	4	40
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,464	△4,035
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△100	150
長期借入金の返済による支出	△149	△149
預り保証金の預りによる収入	158	177
預り保証金の返還による支出	△57	△69
自己株式の取得による支出	△4,950	△9,070
配当金の支払額	△5,518	△6,001
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△295	△212
財務活動によるキャッシュ・フロー	△10,913	△15,176
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△4,064	△6,958
現金及び現金同等物の期首残高	29,681	29,280
現金及び現金同等物の四半期末残高	25,616	22,322

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	オートオー クシヨ ン	中古自動 車等買取 販売	計				
売上高							
外部顧客への売上高	32,011	9,027	41,039	4,124	45,164	—	45,164
セグメント間の内部売上高または振替高	296	0	297	1	298	△298	—
計	32,308	9,028	41,336	4,126	45,462	△298	45,164
セグメント利益	17,044	463	17,507	111	17,619	88	17,707

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、株式会社アビズの廃自動車等のリサイクル事業と株式会社USS東洋の廃ゴムのリサイクル事業であります。

2. セグメント利益の調整額88百万円には、セグメント間取引消去86百万円、のれんの償却額2百万円が含まれております。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	オートオー クシオン	中古自動 車等買取 販売	計				
売上高							
外部顧客への売 上高	33,296	9,264	42,560	4,167	46,728	—	46,728
セグメント間の 内部売上高また は振替高	398	0	399	2	401	△401	—
計	33,695	9,264	42,960	4,170	47,130	△401	46,728
セグメント利益ま たは損失 (△)	19,320	446	19,767	△65	19,701	112	19,813

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、株式会社アビズの廃自動車等のリサイクル事業と株式会社U S S 東洋の廃ゴムのリサイクル事業および株式会社U S S ロジスティクス・インターナショナル・サービスの中古自動車の輸出手段代行サービス事業であります。

2. セグメント利益または損失の調整額112百万円には、セグメント間取引消去110百万円、のれんの償却額1百万円が含まれております。

3. セグメント利益または損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

(自己株式の取得)

当社は、平成23年5月10日開催の取締役会において自己株式を取得することを決議し、普通株式500,000株を取得いたしました。また、平成23年8月2日開催の取締役会において自己株式を取得することを決議し、普通株式495,990株を取得いたしました。さらに平成23年11月8日開催の取締役会において自己株式を取得することを決議し、平成23年12月31日までに407,450株取得しております。

これにより、当第3四半期連結累計期間において自己株式が9,070百万円増加しております。

4. 補足情報

(1) 業績

(連結業績)

(単位：億円)

	23年3月期	24年3月期		
	第3四半期	第3四半期	増減率(%)	通期予想
売上高	451	467	3.5	626
営業利益	177	198	11.9	263
経常利益	179	201	12.6	265
当期純利益	106	119	12.9	159

(2) セグメント別営業収益

(連結業績)

(単位：億円)

	23年3月期	24年3月期		
	第3四半期	第3四半期	増減率(%)	通期予想
《オートオークション》				
出品手数料	80	87	8.3	114
成約手数料	77	79	2.6	105
落札手数料	103	108	4.5	142
商品売上高	7	6	△9.3	7
その他の営業収入	50	50	0.2	68
オートオークション計	320	332	4.0	439
《中古自動車等買取販売》				
中古自動車買取販売	60	62	3.2	85
事故現状車買取販売	29	30	1.4	41
中古自動車等買取販売計	90	92	2.6	127
《その他》				
廃自動車等のリサイクル	33	32	△3.6	45
廃ゴムのリサイクル	7	8	12.9	11
中古自動車の輸出手続代行サービス	—	0	—	1
その他計	41	41	1.1	59
合計	451	467	3.5	626

(3) 設備投資額、減価償却費

(連結業績)

(単位：億円)

	23年3月期	24年3月期		
	第3四半期	第3四半期	増減率(%)	通期予想
設備投資額				
支出ベース	25	5	△76.9	20
完工ベース	16	5	△66.3	20
減価償却費	33	29	△13.8	39